

Nittobo 100th Anniversary

日東紡グループは、
2023年4月1日に創立100周年を迎えます。
次の100年も日東紡グループが持続的に成長すると共に、
社会のニーズに応え、すべてのステークホルダーから

「日東紡でよかった」と
思われる企業グループを
目指してまいります。
ステークホルダーの皆様に支え
られ、ここまで歩んでこられた
ことを感謝いたします。

取締役 代表執行役社長
辻 裕一



果敢に挑み続け100年

「第3の創業」で深化

日東紡グループが100年の歴史を刻むことができたのは、弊社が常に新しいものを創出し、社会の要請に応えてきたこともございますが、なにより、ステークホルダーの皆様が多様なご支援のおかげだと考えております。あらためて心より御礼申し上げます。

「何でも繊維に」の精神で

弊社の歴史を振り返ると、「3段階の創業」があったと認識しています。日東紡は1923年に福島県福島市に設立されました。これが「第1の創業」です。当時の経営者は、繊維の会社ということで、「何でも繊維にしてみよう」というチャレンジ精神が旺盛で、様々な素材の繊維を造っていました。例えばロックフアイバーやステープルフアイバーなど時代の様々なニーズに応じた商品開発を手掛けてきました。これが創業時のスピリットであり、発展の基礎となりました。

時代の要請に応える新事業

その後、戦時中に弊社の郡山工場が爆撃で大きな被害を受けましたが、それら乗り越えた1945年の終戦が「第2の創業」となります。戦後、日本の繊維産業は一時的には活況を呈しましたが、時代の流れと共に国際競争力を失っていき、他の事業への進出が求められました。こうした状況下で、グラスフアイバー事業の強化に加え、建材事業やメディカル事業を開始するなど時代のニーズに合った新事業を展開し、現在に至っています。

DNA受け継ぐ人財育む

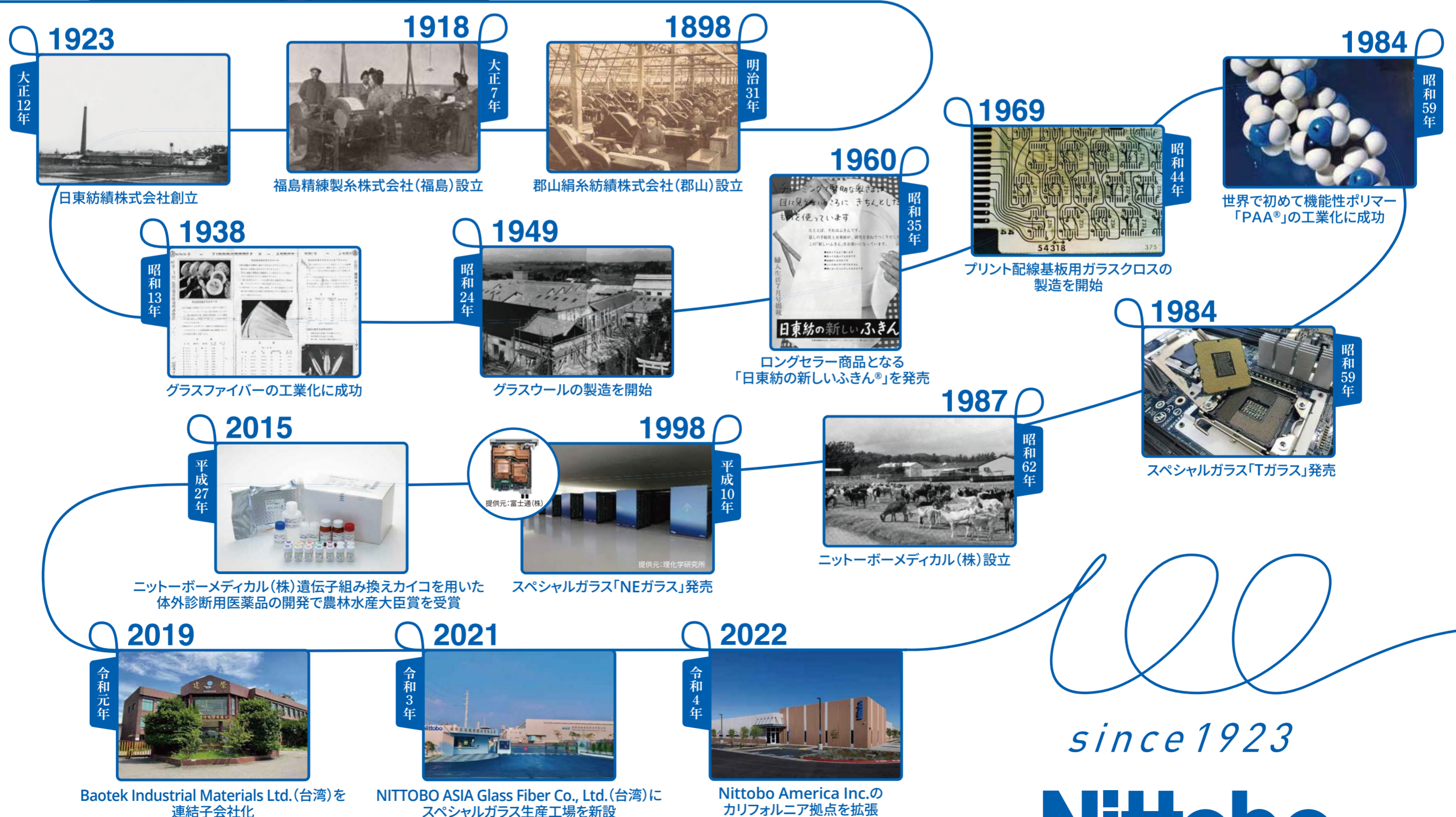
そして「第3の創業」はまさに今年、2023年です。この100周年を迎える年で、われわれは創業時のスピリットに立ち返る必要があると思っています。日東紡のDNA、すなわち失敗を恐れないチャレンジ精神をさらに深化させて、次の100年に向けた活動を開始したいと考えています。

われわれの目指す姿は、全てのトの活動によって実現するものと考えています。チャレンジ精神を深化させるための人財育成が喫緊のテーマです。そのためには、ある程度の失敗であれば許容する文化も同時に作り上げて

福島の復興へ思い強く

福島県発祥の企業として、福島での活動にも引き続き注力していきます。福島から世界への事業展開は、福島の産業復興や地域社会への貢献にもつながります。最終的には、震災からの復興という強い思いがあります。われわれが頑張ることで福島の復興につながると思っています。

今年2023年は、日東紡グループにとって次の100年に向けての「人財育成元年」と位置付けています。意欲のある社員に積極的にチャンスを与え、失敗を恐れず果敢にチャレンジしてもらうことで、日東紡グループの目指す「グローバル・ニッチNo.1」の実現を図りたいと考えています。



since 1923

Nittobo